

1. 件 名：島根原子力発電所のUPZ外のモニタリングに関する面談について
2. 日 時：令和6年2月5日（月）13時25分～15時40分
3. 場 所：原子力規制庁会議室
4. 出席者：（※TV会議システムによる出席）
原子力規制庁 監視情報課
坂本補佐、竹田地方調整官、實松上席放射線防災専門官※

中国電力株式会社

電源事業本部 電源事業本部 担当部長（原子力管理）他2名※

5. 要 旨

- ・原子力規制庁より、UPZ外のモニタリングについては、国、原子力事業者が実施及び支援をすることになっていることから、中国電力株式会社（以下「中国電力」という。）に、緊急時のUPZ外の走行モニタリング等を実施する際の拠点の選定について、面談を実施した。
- ・中国電力から、UPZ外における拠点について、既に防災業務計画に定めている後方支援拠点である知井宮変電所及び広瀬中央公園について提案があった。具体的な拠点選定のため、最初に、知井宮変電所について、実地を含め検討することになった。なお、松江市の南方面、東方面については、引き続き検討をすることになった。
- ・また、島根県議会の会議録における隠岐圏域へのモニタリングに係る答弁内容を共有し、今後の対応案について議論した結果、継続して協議していくこととなった。

6. その他

中国電力からの配付資料

- ・UPZ外緊急時モニタリングの活動拠点について